

重点的に取り組む事業

令和6年度の新規の施策や「福岡県の教育施策の体系」(5ページ)に示す8の項目において、特に重点的に取り組む施策に関する事業について、以下に示します。

1	学力向上総合推進事業	49
2	グローバル化に対応した英語教育推進事業(一部新規)	50
3	福岡県体力向上総合推進事業	51
4	福岡県部活動改革推進事業	51
5	ワンヘルス教育総合推進事業(一部新規)	52
6	読書好きを育む環境づくり応援事業	53
7	読書バリアフリー推進事業(新規)	53
8	いじめ・不登校総合対策事業(一部新規)	54
9	保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業	55
10	地域と一体となった学校づくり事業	55
11	「 ^{また} 鍛ほめ福岡メソッド」総合推進事業	56
12	特別支援教育の推進事業	57
13	キャリア教育総合推進事業(一部新規)	58
14	ICTを活用した教育推進事業(一部新規)	59
15	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業	60
16	教職員の働き方改革推進事業(一部新規)	60
17	ジュニアアスリート育成・女性アスリート支援・競技団体等活性化事業	61
18	ふくおか社会教育応援隊事業	61
19	古代日本の「西の都」魅力発信事業	62
20	人権が大切にされた社会をめざす生徒のリーダーシップ育成事業(新規)	62
	<参考資料>重点的に取り組む事業に関する予算概要	63

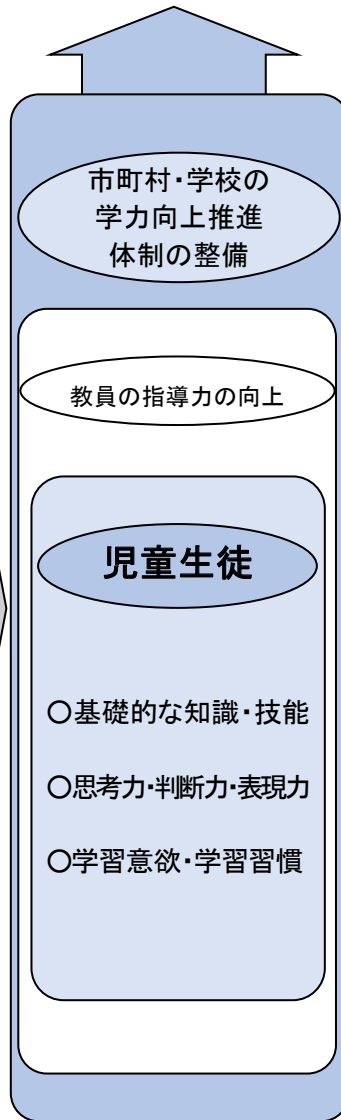
※(一部新規)中の_____の部分が新規事業を表す

県、市町村、学校が一体となった学力向上の取組を総合的に展開することにより、児童生徒の実態に即した取組を強化して、確かな学力を育みます。

確かな学力の育成

市町村教育委員会支援

- ◆ふくおか学力アップ推進事業
 - 学力調査の実施
 - ・福岡県学力調査...小5、中1・2
 - ・市町村、小中学校の取組状況調査
 - 学力向上推進会議の設置
 - ・県の統一的な取組や各地区の課題に応じた取組を推進
 - 学力向上推進強化市町村の指定
 - ・県内22市町村（学校組合）
 - ・学力向上支援チームの派遣
 - ・学力向上施策の助成
 - 非常勤講師の派遣
 - ・少人数指導、習熟度別指導等のきめ細かな指導の充実
 - 目標値設定
 - ・小・中学校が設定する目標値を基に、市町村や地区の目標値を設定
 - 小・中連携教育の推進
 - ・小・中学校間の教員による授業交流、合同研修会の促進
 - 両指定都市との連携強化
 - ・教育長懇談会、連絡会議等の定期開催
 - ・教材集、手引等の相互活用
- ◆学級づくりと個別最適な学習による確かな学力の育成推進事業
 - ・研究指定校における、児童生徒の学級適応感の分析、学力状況の正確な把握（県学力調査のIRT・CBT化に向けた試行）、学力低位層の学力向上の取組等



学校・教員支援

- ◆ふくおか学力アップ推進事業
 - 基礎・基本を含む活用力育成教材集及びチャレンジテスト
 - ・教材集...小4～6、中1～3
 - ・チャレンジテスト...小4
 - ・ふくおか学力向上Webシステムによる課題分析支援
- ◆学力向上推進拠点校指定事業
 - 学力向上推進拠点校の指定
 - ・学力向上推進拠点校（中学校）6校
 - ・学習支援員の派遣
 - ・指導主事の重点的な派遣
 - ・研究費の助成
- ◆「主体的・対話的で深い学び」推進事業
 - 外国語科授業力向上実践講座（対象者）
 - ・中学校外国語科担当教員（内容）
 - ・言語活動を中心とした授業構想の支援
- ◆授業力向上、学力向上プラン改善の支援
 - ・授業づくり支援チーム及び学力向上フォローアップチームの派遣
 - ・県立高校入試問題を活用した授業改善・学習資料の作成・配布
 - ・学習到達度診断シート（未来への一歩）や動画コンテンツ（算数・数学、外国語）、授業チェックリストの活用

学校、家庭、地域の連携・協働

【学校と地域の効果的な連携・協働】

- ◆地域学校協働活動事業
 - ・地域学校協働本部を設置し、学校支援、学習支援等を実施する市町村を支援
 - ・地域学校協働活動推進員、協働活動サポーター等研修会の開催
- ◆コミュニティ・スクールの推進・充実
 - ・コミュニティ・スクール導入後の取組の充実に向けた研修会の開催

【家庭教育を支援する取組】

- ◆学習習慣の定着に関する啓発等
 - ・県社会教育主事等がリーフレット「福岡県家庭教育のすすめ」等を活用し、学力の基盤となる基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の定着について、保護者等への情報提供及び啓発
- ◆県PTA連合会と連携した取組
 - ・PTAが実施する「新」家庭教育宣言等における基本的な生活習慣の定着を図る取組の奨励

その他の取組

- 学力向上に向けた「校長説明会」等の開催
- 携帯電話・スマートフォンのルールづくりの推進
- 「チーム学校」等の強化

事業費：411,474千円

小学校教員及び中・高等学校英語教員の英語力・指導力を高めるとともに、小・中・高で一貫性のある英語教育を実施することとおして、英語力や英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を養成し、海外留学を志す児童生徒及びグローバル社会で活躍する人材を育成します。

英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付け、
グローバル社会で活躍する人材を育成

児童生徒の
英語力の向上

教員の英語力・
指導力の向上

豊かな国際感覚の
醸成

中・高等学校における英語教育の高度化への対応

1 英語力の高い生徒の育成

- 県域の中学生を対象とした英検IBAテストの実施
- 中学生英語スピーチコンテストの開催
- ALT（外国語指導助手）の配置・活用
- ALTスペシャリスト（英語イマージョン教育等の実践・普及も担うALT）、NET（ネイティブ英語教員）の配置・活用<高>
- ALTを活用したオンライン英会話の実施<高>

2 教員の英語力・指導力の向上

- 教員の英語指導力向上研修の実施・充実
- NET及びALTスペシャリストによる公開授業の実施<高>

3 高校生の海外留学の促進

- 「福岡から世界へ」人材育成プログラムの実施
- 海外留学の手続・費用等に係る説明会の実施
- 海外留学経費の助成
- 留学経験者による留学の促進活動

小学校における英語教育の教科化への対応

1 教員の英語指導力の向上

- 力量を備えた教員の採用

2 小学生の英語コミュニケーションへの意欲向上

- 言語活動を通して指導することへの支援
- 県域の小学6年生を対象とした英検ESGの提供

【課題】 ■児童生徒の英語力の向上 ■小・中・高校教員の英語力・指導力の向上
■高校生の海外留学に対する意識や意欲の向上

事業費：475,290千円

子どもの運動やスポーツをする習慣の定着と体力向上のため、スポコン広場の実施や教員の指導力向上に向けた研修会の開催等により、子どもの体力向上に係る総合的な取組を実施します。

子どもの運動やスポーツをする習慣の定着と体力向上

子どもの体力向上に係る総合的な取組

運動やスポーツへの動機付けと習慣化

小学生チャレンジスポーツプロジェクト

- 「スポコン広場チャレンジランキングゾーン」の実施
- 「みんなでダンス」の実施
- スポコン広場地区大会の開催

体力アップシートの配布

- 運動やスポーツへの動機付けを図るため、運動・スポーツへの取組や新体力テストの結果が記録できるシートを配布

福岡県体力向上推進委員会

- 体育・保健体育授業検討部会、運動日常化推進部会において、体力向上に向けた具体的な取組を検討

教員の指導力向上

小・中学校体力向上指導者研修会

- 小・中学校の体育担当教員を対象として、体力向上に関する取組についての研修を実施

武道等指導者養成研修会

- 中・高等学校の保健体育教員を対象として、武道の楽しさを味わうための指導法を学ぶ研修を実施(柔道、剣道、空手道)

体育・保健体育科授業の充実・改善
 「1校1取組」運動を位置付けた体力向上プランの
 作成・実施(計画的・継続的な取組の充実)
 「運動やスポーツの楽しさ・喜び」の実感

事業費：1,640千円

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築のため、部活動改革協議会や実証事業等の実施、指導者向け研修会の開催等により、部活動改革に係る総合的な取組を推進します。

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築

部活動改革に係る総合的な取組

実施主体、人材確保等の環境づくり

- 部活動改革協議会・説明会の開催
 - ・県及び市町村における部活動改革の方針や進捗状況及び課題等について検討する協議会の設置
 - ・部活動の地域移行に関する研修会及び説明会の実施
- 部活動の地域移行に向けた実証事業
 - ・体制整備、指導者の質の保障・量の確保、関係団体・分野との連携強化等について実証し、県内に広く普及
- 部活動指導員の配置支援
 - ・部活動の指導体制の充実
 - ・教職員の負担軽減

教育庁

連携

人づくり・
県民生活部

指導者向け研修会等

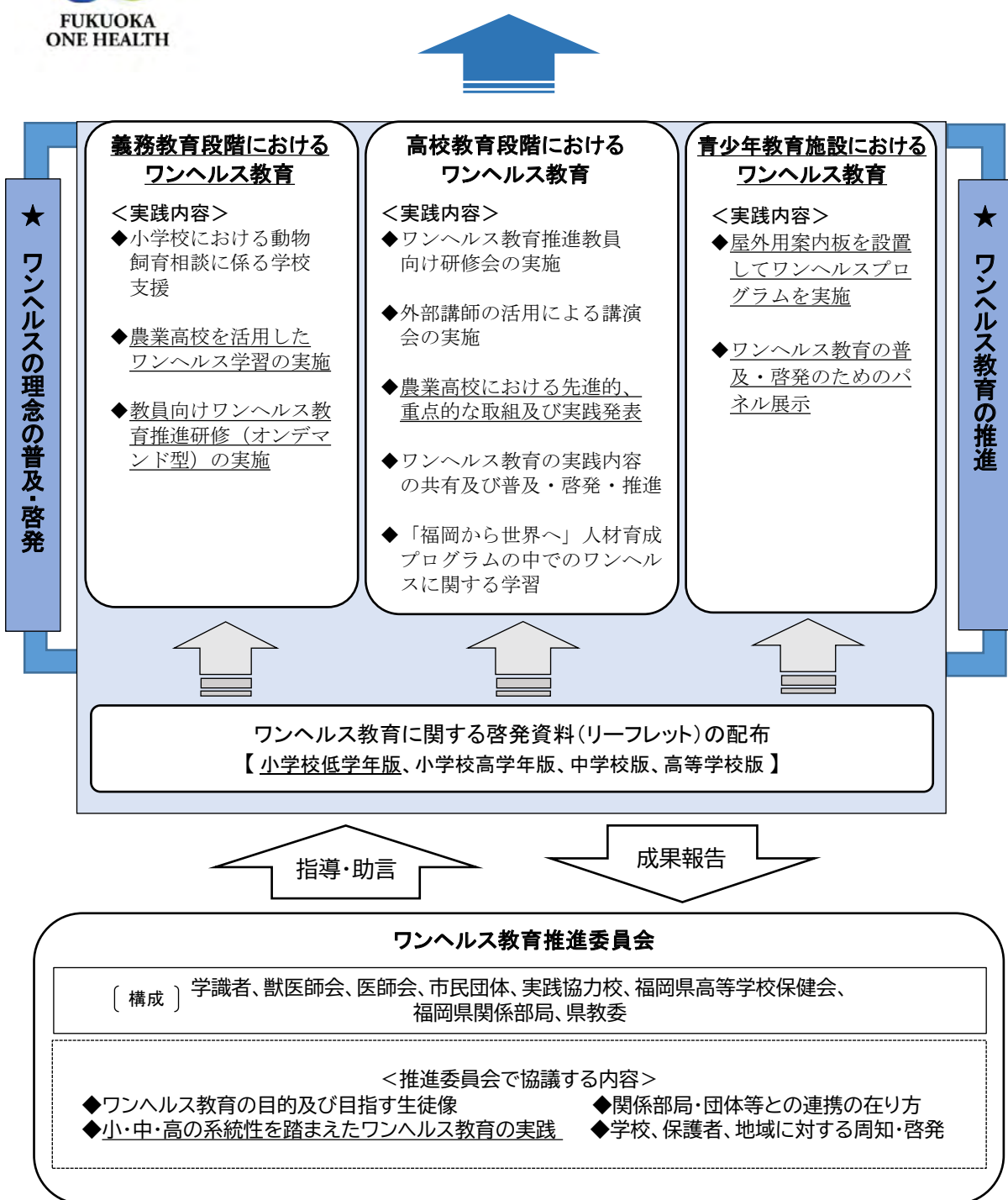
- 運動部活動指導力向上研修会
 - ・中・高等学校の運動部活動顧問を対象とした指導力向上のための講義及び実技
- 部活動指導員研修会
 - ・部活動の指導体制の在り方や生徒理解に基づく指導法等に関する研修
- 部活動改革セミナー
 - ・各市町村の関係者等を対象とした部活動改革に係る国の動向や先進地域の実践等を共有するセミナー

事業費：225,835千円

児童・生徒が生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を身に付けるため、義務教育段階から高等学校段階までの系統性ある「ワンヘルス教育」の推進を図るとともに、「ワンヘルス」の理念の普及・啓発を図ります。



生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力の育成



事業費：19,229千円

6 読書好きを育む環境づくり応援事業

社会教育課

乳幼児から中学生までを対象とした発達段階に応じた読書活動の取組や保護者への啓発、読書活動の気運を高める特色ある取組の支援を通して、「読書が好きな子ども」が育まれる環境づくりを推進します。

読書好きを育む環境づくりの充実

関係機関と連携した読書活動

- 乳幼児を対象
例) 読み聞かせ、紙人形劇等
 - 小・中学生を対象
例) 読み聞かせ、読書リーダー養成等
 - 保護者・地域住民を対象
例) 子どもの啓発、ブックトーク等
- 【市町村への補助】

実践交流会

- 効果的な取組の紹介
 - 参加者同士の交流
 - ネットワークづくり等
- 市町村関係職員
学校関係職員
読書ボランティア
保護者 等

特色ある取組・イベント

- 読書活動への気運を高め、読書の有用性を啓発
例) 人が集まる場(ショッピングモール等)を活用した読書イベント
 - その他
特色ある読書活動の取組
- 【団体等への委託】

事業費：3,991千円

7 読書バリアフリー推進事業（新規）

社会教育課

福岡県読書バリアフリー推進計画に基づき、障がいの有無に関わらず、全ての人が等しく読書ができる社会を実現するために、県立図書館が推進拠点となって福岡点字図書館と連携して、職員研修をはじめとした公立図書館への支援及び利用者へのサービスの充実を図ります。

全ての人が等しく読書ができる社会の実現

公立図書館等の人材育成・体制整備

- 公立図書館職員向け読書バリアフリー研修の実施
・講義、読書支援機器・バリアフリー図書の体験等
- 録音図書製作(音訳)ボランティア養成講座の実施

利用しやすい図書館サービスの充実

- バリアフリーサービス充実のための機器整備
- 視覚障がい者等への図書の郵送貸出(無料)実施

図書館サービスに係る情報発信

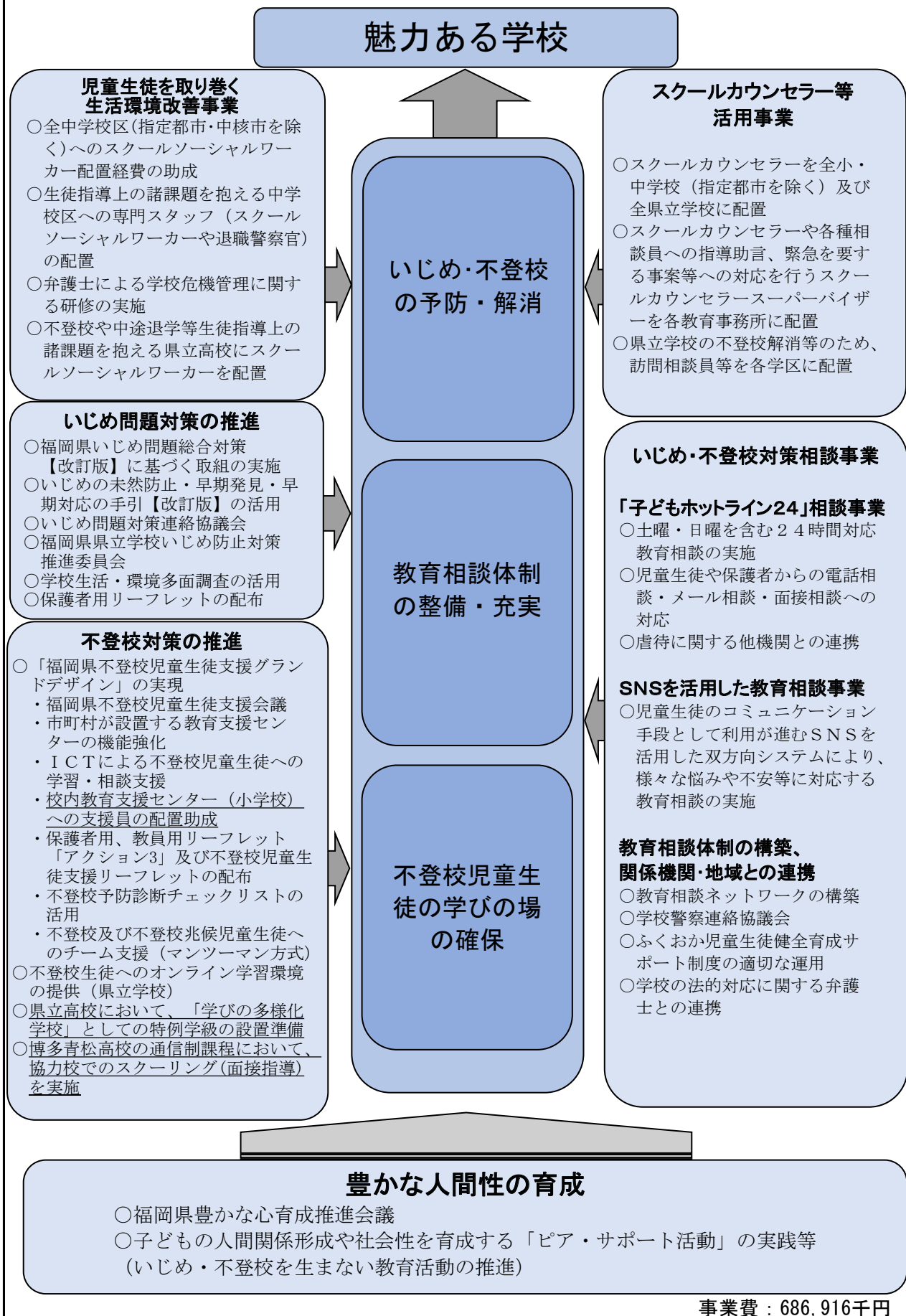
- 読書バリアフリー体験会の実施
・音声デジタイズ図書、拡大読書器等の体験会を実施
- 県立図書館HPウェブアクセシビリティの向上
・音声読み上げ、操作補助アイコン等、HP機能を充実
- 点字併記のチラシ、パンフレットによる広報
・県立図書館の各種サービス等についてわかりやすく広報

【課題】

- 公立図書館における視覚障がい者等の読書活動をサポートする人材養成の必要
- 読書困難者の多様なニーズに応えるための読書環境の整備が必要
- 読書バリアフリーサービスについての認知が不十分

事業費：4,738千円

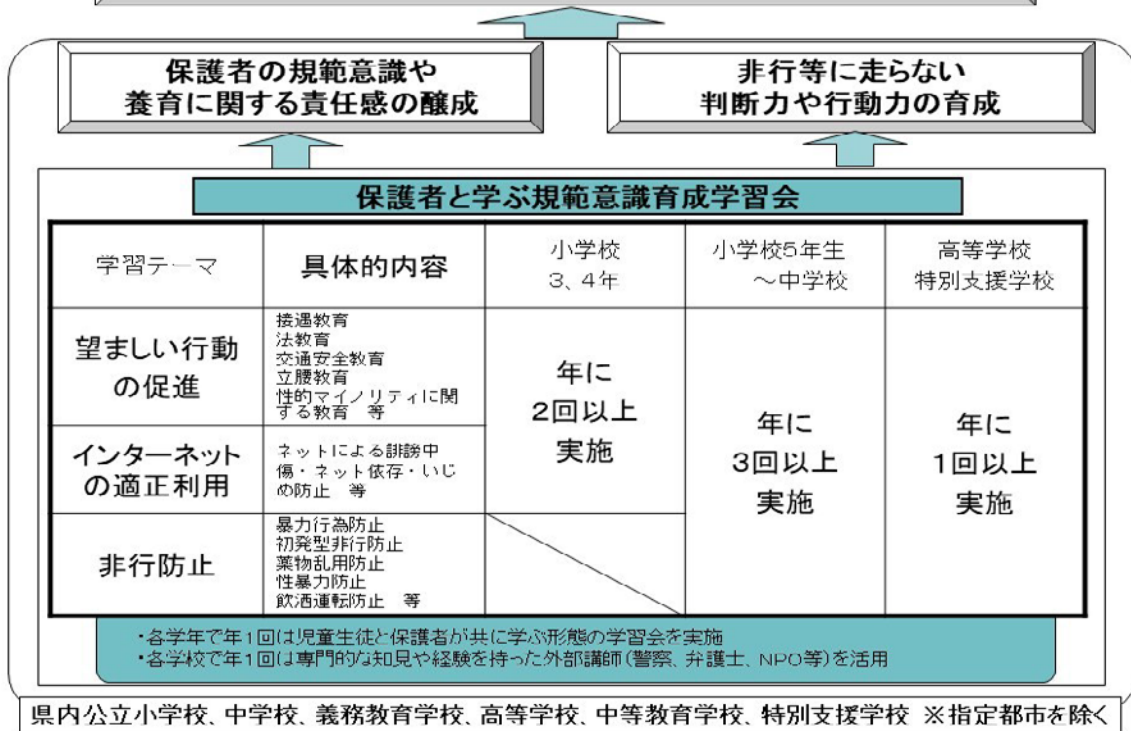
スクールカウンセラー等の専門家や関係機関等との連携・協働、一人一人に応じた多様な支援により、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指し、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進します。



事業費：686,916千円

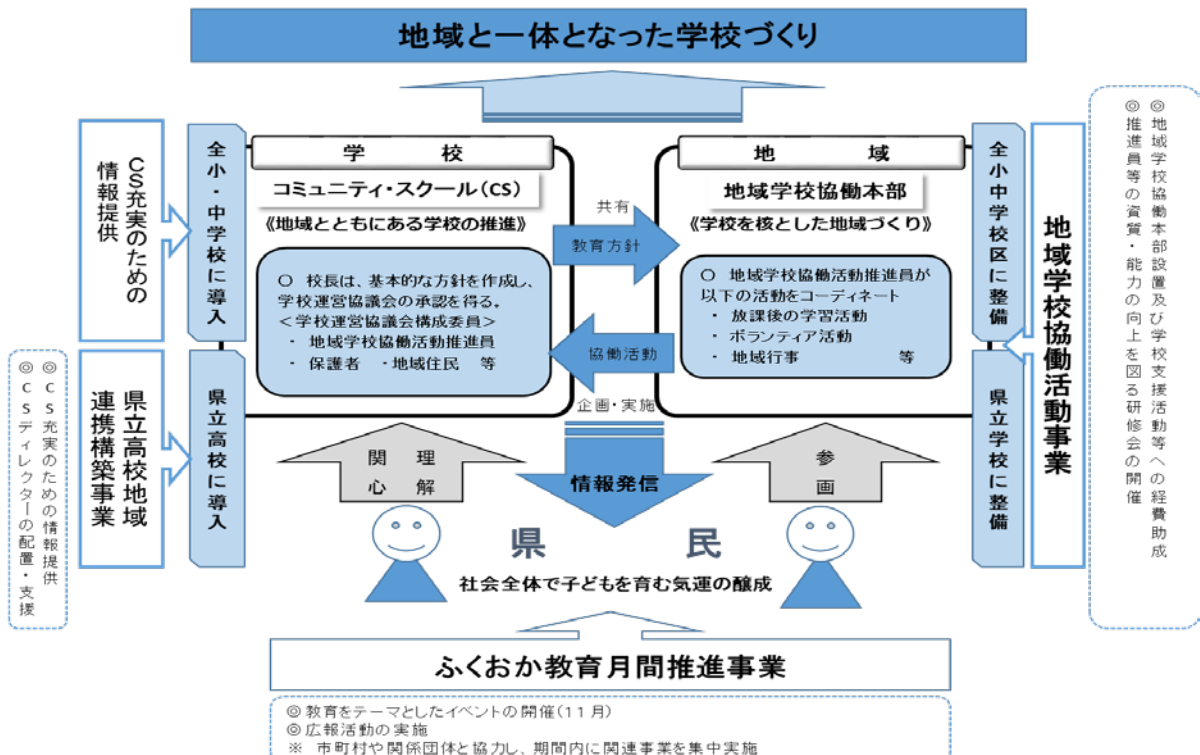
保護者が児童生徒とともに規範意識について学ぶことで、保護者の規範意識や養育に関する責任感を高め、さらに学校と家庭との連携を図り、児童生徒の規範意識を育成します。

非行防止の基盤となる児童生徒の規範意識の育成



事業費：4,664千円

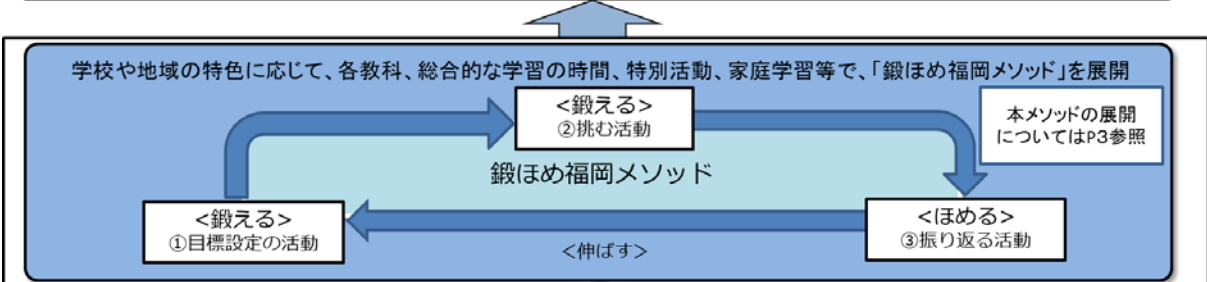
コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の導入・実践に取り組む市町村を支援するとともに、県立高校にコミュニティ・スクールと地域学校協働本部を導入・整備することで、学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育成する体制を整え、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を推進します。



事業費：112,043千円

福岡県独自の指導方法「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を通して、子どもの学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等を育成するとともに、その成果を県内に広く普及します。

学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等の育成



【学ぶことに挑み続ける子どもを育む鍛ほめプロジェクト】

取組テーマ：『「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた基礎学力の定着を図る取組におけるICT活用(1人1台端末)の効果的な在り方について』

- 非認知的能力の高まりと学力の育成の相関を分析し、効果的な取組事例を収集・啓発
 - ・研究協力校において取組テーマの研究・実践
 - ・学識経験者等で構成する調査研究協議会が研究協力校に指導助言
 - ・分析協議会において非認知的能力と学力の相関関係を科学的に分析

【算数・数学における学習到達診断シート「未来への一歩」を活用した学力向上の取組】

- 「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた「未来への一歩」の効果的な取組事例の収集・啓発
 - ・「鍛ほめプロジェクト」研究協力校、「学力向上推進拠点校事業」拠点校、「学力向上推進強化市町村」推進校、参加希望校における研究実践
 - ・大学と連携した「定着状況診断テスト」、「児童生徒質問紙調査」の分析・検証

事業費：6,817千円

福岡県特別支援教育推進プラン（第2期）に掲げた5つの柱に基づき、インクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育を推進し、障がいのある子どもの自立と社会参加を目指します。

障がいのある子どもの自立と社会参加



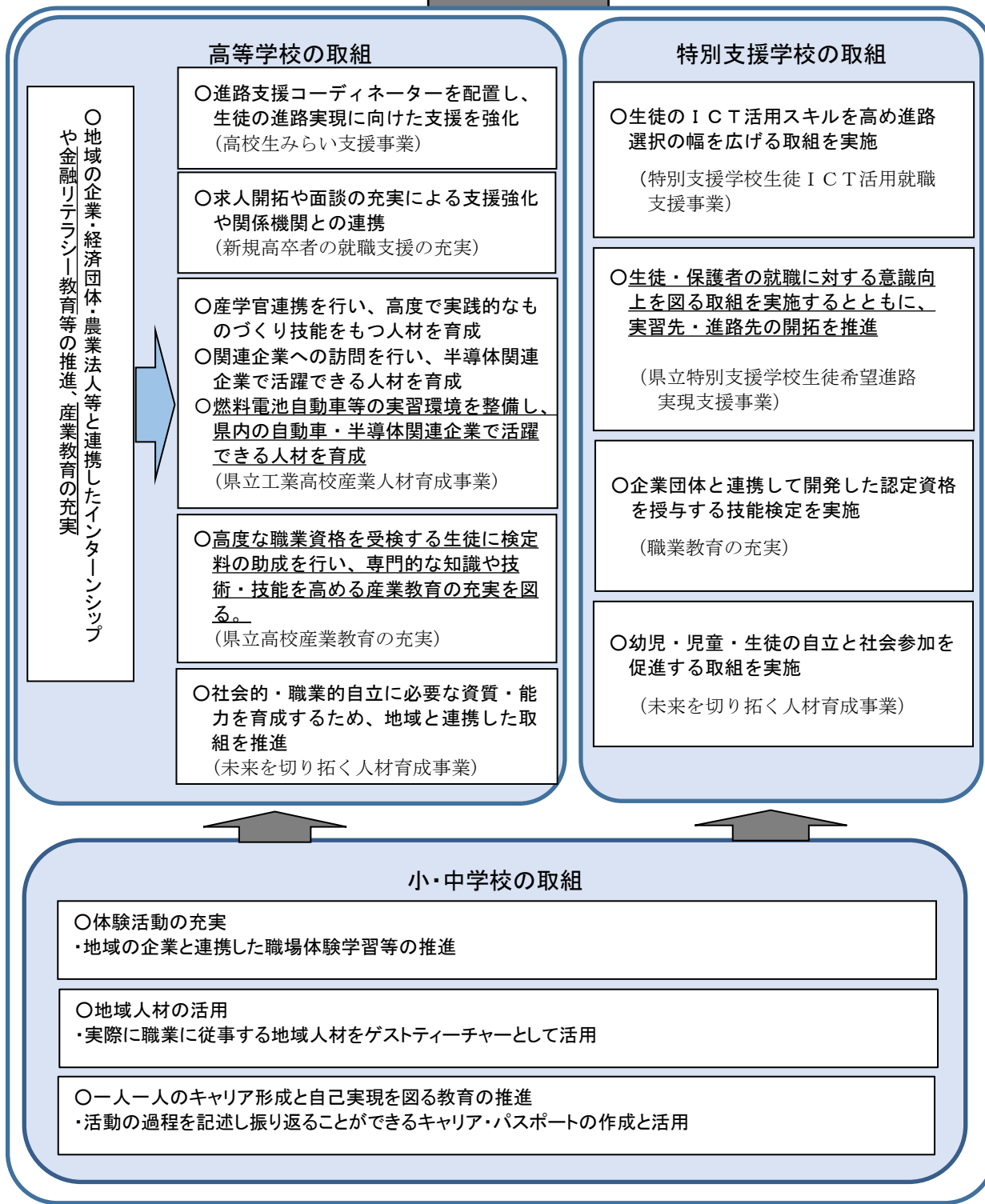
【課題】

- ・ 対象児童生徒数の増加に伴う特別支援学校の教室不足の解消
- ・ 障がいの重度・重複化及び多様化に対応した教育の充実及び教員の専門性の向上
- ・ 子どもの多様なニーズへの対応（学びの場の検討、実習先・就職先の開拓）
- ・ 進学・就職時における継続性のある指導及び切れ目ない支援

事業費：433,539千円

地域の企業・経済団体等と連携して、子どもの発達段階に応じた勤労観・職業観を育み、自立した生き方を考えさせるためのキャリア教育、各地域のニーズに応じた職業教育を推進します。

社会で自立していく力



○地域の企業・経済団体・農業法人等と連携したインターンシップや金融リテラシー教育等の推進、産業教育の充実

事業費：159,796千円

学校におけるICT環境の整備を進め、これまでの教育実践とICTを最適に組み合わせ、児童生徒の情報活用能力などの資質・能力を伸ばす、令和の時代にふさわしい「新しい教育」の姿を実現します。

令和の時代にふさわしい「新しい教育」

ICTを活用した教育の充実

これまでの教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

教員のICT活用指導力の向上

- 各地域、学校の実態等に応じた研修等の実施
 - ・各地域や学校の実態やニーズに応じた授業におけるICT活用についての校内研修等の支援
- 県立学校における授業へのICTの効果的活用を推進
 - ・「教育の情報化推進主任」をチーフとして学校全体で授業改善に取り組む体制づくり
 - ・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する校内研修を充実

先進的教育モデルの研究

【小・中学校】

- STEAM教育等、ICTを活用した教科横断的な学びに関する授業・学習等の在り方について研究
- 協力校における情報活用能力育成のためのカリキュラムマネジメントの推進
- 指導計画や実践事例等の普及啓発

【県立学校】

- ICTを効果的に活用した授業改善や評価方法を研究
- 研究指定校において、遠隔・オンライン教育等を活用した新たな教育方法による教科等横断的な学びに関するカリキュラム開発等を研究

プログラミング教育の充実

【県立高校】

- 「情報Ⅰ」を履修する全ての県立高校にプログラミングの効果的な実習環境を整備

学校横断型教育プログラムの実施

【県立高校】

- 1人1台タブレット型パソコンを活用した県立学校全体の多彩な教育資源の共有による、学校の枠を越えた学習活動の実施

ICT環境の整備

- 義務教育段階の公立学校における、福岡県公立学校情報機器整備基金を活用した1人1台端末の更新
- 県立学校の生徒用1人1台タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の教員用タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の学習用インターネット環境の整備
- 情報、数学、理科等の教育や、ICTを活用した文理横断的な学びを強化する県立学校に対し、必要な環境を整備
- 教員のICT活用をサポートする情報通信技術支援員（ICT支援員）の継続配置（全県立学校）
- 児童生徒の障がいの特性に応じたICT機器（分身ロボット・デジタル教科書・入出力支援装置等）の配備・維持・更新（県立特別支援学校）

生徒の学習データの蓄積・分析

- 各学校でのデータ分析により生徒自身の学びの振り返りや教員の指導改善に活用できるデジタル採点システムの活用（県立中・高等学校）

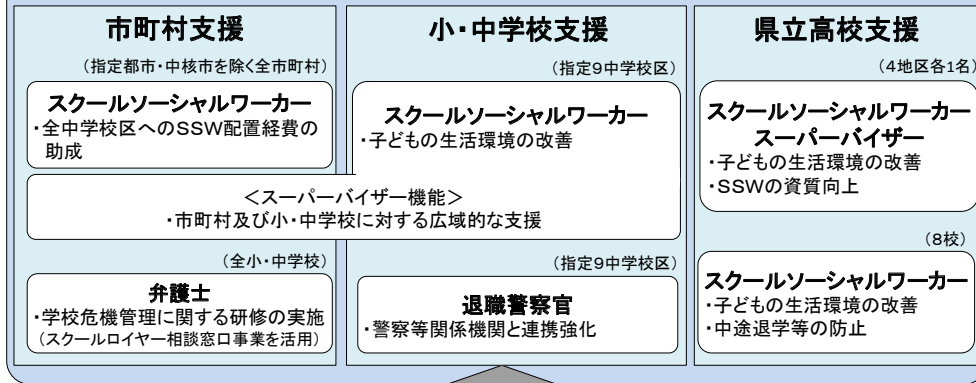
福岡県学校教育ICT活用推進方針

事業費：6,503,311千円

学校をプラットフォームとした子どもの貧困対策を展開するため、全中学校区へのスクールソーシャルワーカー（SSW）配置など、専門スタッフの配置拡充により、学校の生徒指導及び教育相談体制を強化し、児童生徒を取り巻く生活環境の改善を図ります。

貧困をはじめとする子どもの生活環境の改善

「チーム学校」による生徒指導及び教育相談体制の強化



専門スタッフの配置・派遣

児童生徒を取り巻く生活環境の悪化、SSW配置等の不均等

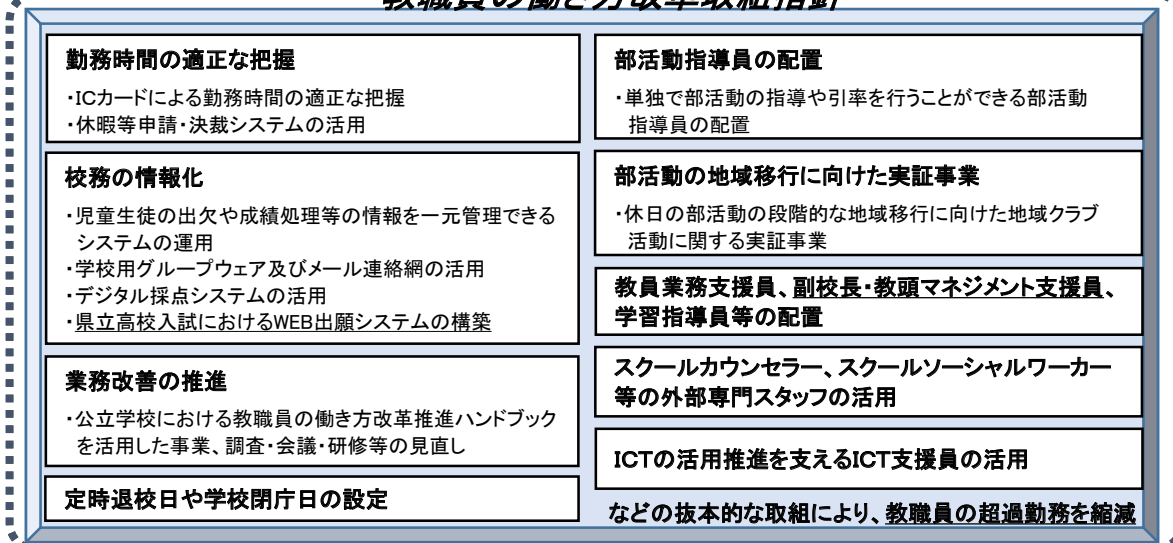
- 子どもの貧困、家庭状況を要因とする不登校児童生徒数の増加
- 各地域内の不登校等の学校間格差
- SSW配置状況の市町村間格差、SSWの資質向上等

事業費：92,170千円

教職員の長時間勤務を改善するため、ICカードによる勤務時間の適正な把握など、実効性のある対策を働き方改革の指針に盛り込み、順次実行することで、教職員が子どもと向き合う時間の確保や教育の質の向上を図ります。

教職員が子どもと向き合う時間の確保、教職員の健康の保持増進・ワークライフバランスの実現

教職員の働き方改革取組指針



抜本的な取組が必要

教職員の長時間勤務が深刻化

（教職員に求められる教育課題が複雑化・困難化するとともに、保護者・地域活動への対応等、その役割が多様化）

事業費：765,169千円

17 ジュニアアスリート育成・女性アスリート支援・
競技団体等活性化事業

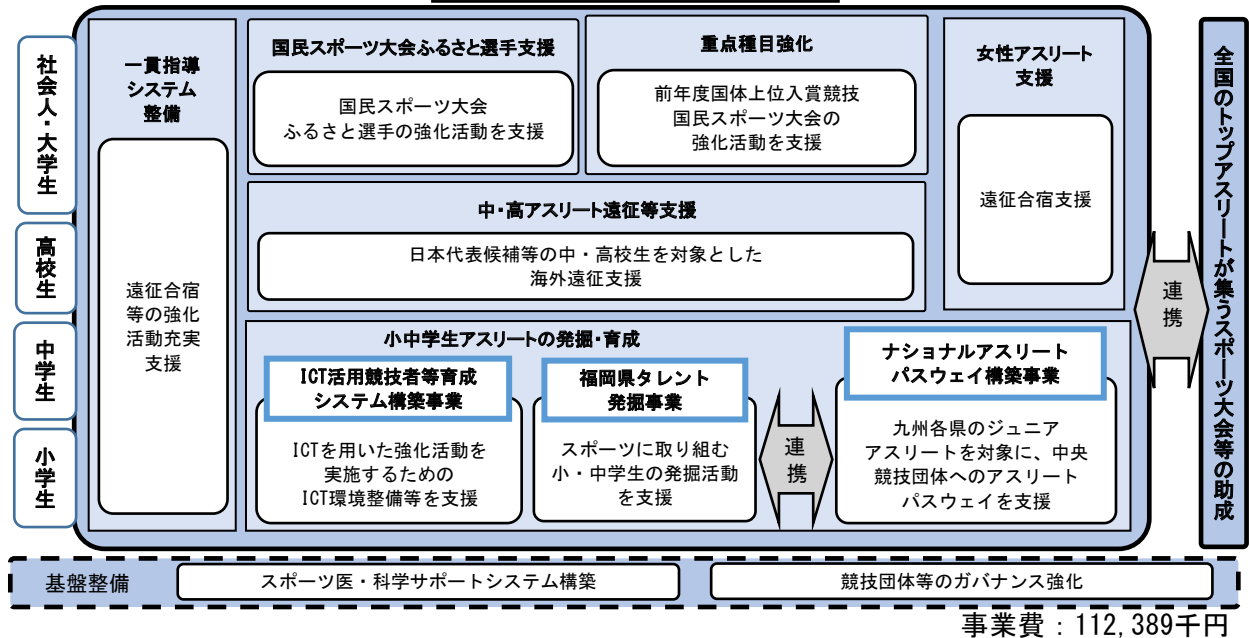
体育スポーツ健康課

国際大会等世界の舞台で活躍するなど、スポーツの力で県民に夢や感動を与えることのできる
トップアスリートを輩出するため、スポーツに取り組む小・中学生の発掘から始まる各年代の
「育成システム」を構築します。

目指す姿:スポーツの力で県民に夢や感動を与える!

国民スポーツ大会常時8位以内入賞・国際大会で本県ゆかりの選手が優秀な成績

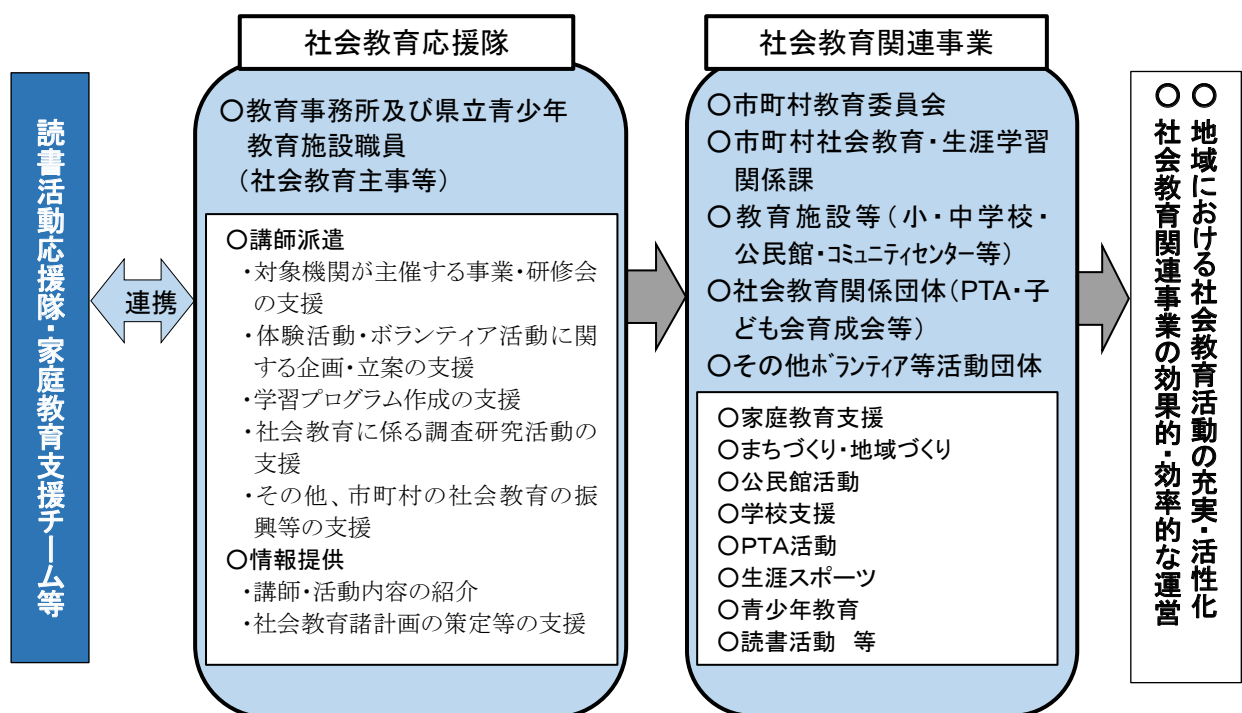
全ての競技団体が発掘・育成システムを構築、強化拠点の整備



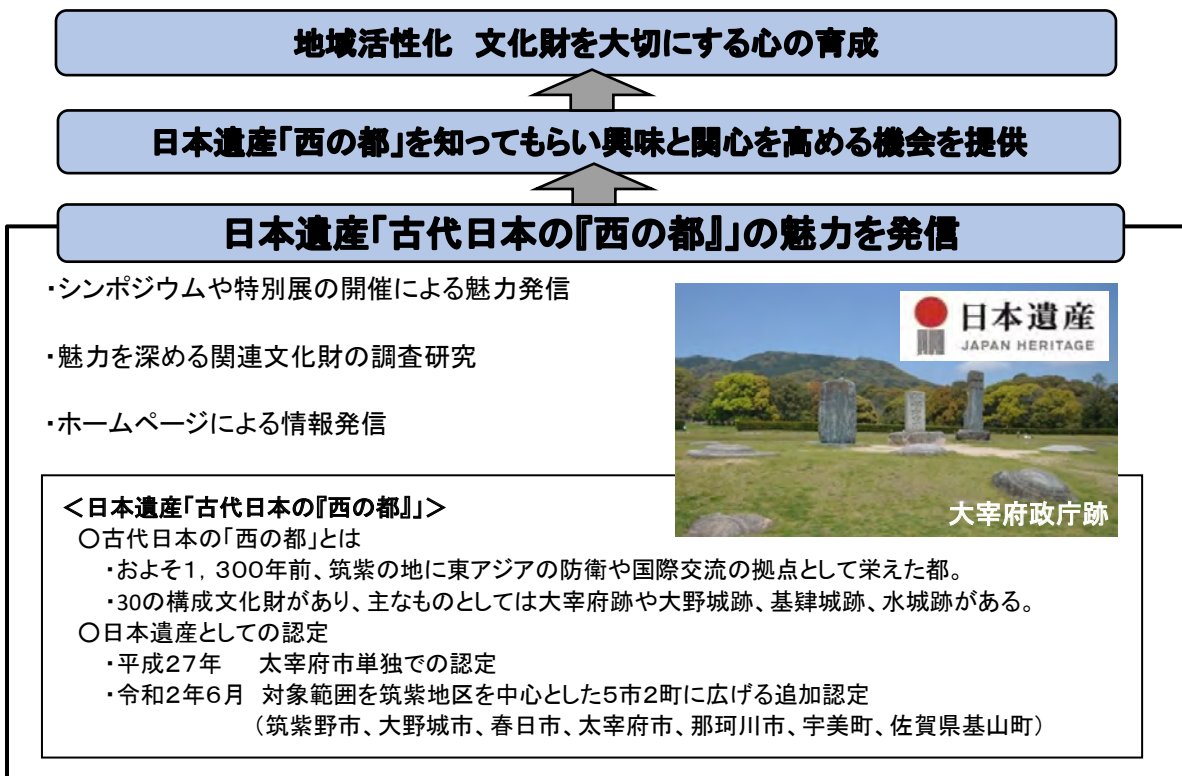
18 ふくおか社会教育応援隊事業

社会教育課

「ふくおか社会教育応援隊（県社会教育主事等）」が、市町村規模あるいは広域で活動する
機関・団体等が実施する社会教育関連事業に対し、効果的・効率的な運営を支援すること
により、地域における社会教育活動の充実及び活性化を図ります。

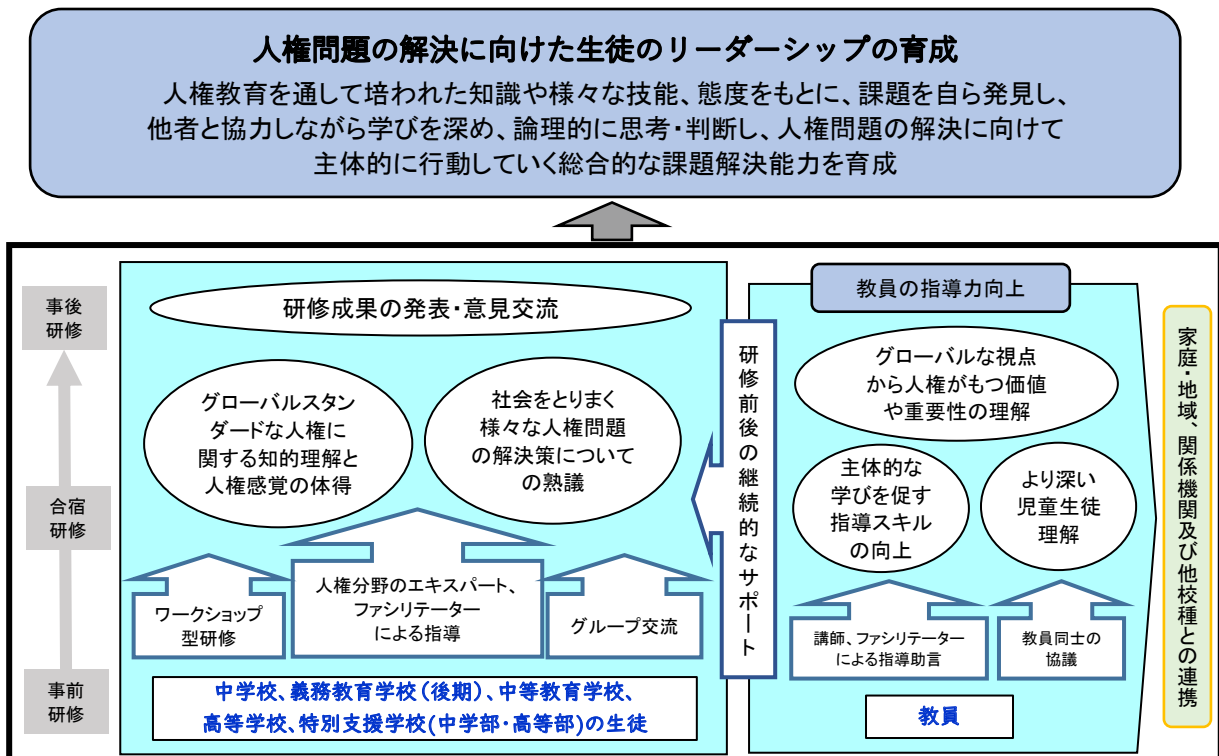


日本遺産「古代日本の『西の都』」の魅力を国内外に発信し、広く知ってもらうとともに、本県の文化・歴史への興味と関心を高める機会を提供します。



事業費：8,203千円

グローバルで多様化した世界の中で、様々な人権問題に気づき、問題解決に向けた行動に一步踏み出すことのできる態度・技能（スキル）を身につけた生徒の育成のため、人権問題に関する有識者等によるワークショップや様々な地域・校種の参加者との交流プログラムを実施します。



事業費：4,927千円